



2024年度版

日本モンキーセンター



# 学習利用の手引き



動物園を学びの場に！



# 動物園を学ぶの場に！

## 動物園を活用した「本物」の学び

### ■動物園は「博物館」

公益財団法人日本モンキーセンターは、霊長類をテーマとする「博物館」です。博物館で学ぶ大きな意義のひとつは、そこに「本物」の資料があるということです。日本モンキーセンターは世界各地に生息するおよそ50種の生きた霊長類を飼育・展示しているほか、骨格や剥製など世界有数の標本コレクションを所蔵しています。また、専門性をもつスタッフが常駐していることも博物館の強みです。

### ■霊長類を知ること「ヒト」を知ること

新しい学習指導要領のもとで新課程がスタートしました。新課程の理科で、生物分野のキーワードになっているのが「共通点」と「相違点」です。日本モンキーセンターに来園していただくと、同じ霊長類といってもたくさんの相違点があり、霊長類が驚くべき多様性をもつことに気づくでしょう。その一方で、ヒトをふくむ霊長類はルーツを同じくする哺乳類の1グループですから、たくさんの共通点をもっています。共通の進化的な背景をもちつつ多様化してきた、その分岐の枝わかれのひとつとしてヒトが存在する。つまり霊長類を知るとはヒトを知ることにつながるのです。

### ■学びの場としての博物館

学習指導要領では博物館等の社会教育施設との連携が明記されました。日本モンキーセンターでは長年にわたって学校と連携した教育普及活動に取り組み、さまざまなテーマで教育プログラムを用意しています。この「学習利用の手引き」ではその一部を紹介しました。

教科書や映像資料などではなく、博物館で「本物」を体験することは子どもたちに感動をもたらします。日本モンキーセンターを身近な学びの場として活用し、目の前の動物たちを通して、仲間とのくらしや野生の生息地にまで思いをはせてください。そうすることで子どもたちの世界は広がっていくことでしょう。そして生き物の進化や私たち自身のルーツ、生命の尊さや自然の大切さについての理解を深めていただければ幸いです。

日本モンキーセンター 学術部

## 日本モンキーセンターとは

日本モンキーセンターは、霊長類の総合的研究、野生ニホンザルの保護などを目的に、1956年（昭和31年）に設立された、内閣府所管の公益財団法人です。翌1957年（昭和32年）には、愛知県で2番目に博物館法の適用を受け、登録博物館となりました。

2014年4月に財団法人から公益財団法人へ移行し、「霊長類に関する調査研究を基盤に、その保護と生息地の保全を行い、社会教育・普及活動や図書等の刊行、標本等の資試料の収集、さらには福祉に配慮した動物園の設置および経営等を通じて、学術・教育・文化の発展及び地域社会の調和ある共存に資すること（定款より）」を目的として活動しています。

保有資料：飼育動物 霊長類 54種 723頭 標本資料 骨格標本 4537点 液浸標本 7548点 剥製標本 257点 など

※2024年3月31日現在



### 霊長類から学べる多様なテーマ

霊長類は、さまざまな学びの要素を秘めたすばらしい「教材」です！

単に来園して見学するだけでも楽しめますが、生活科や理科など学校で学んだことと関連付けて教育プログラムを組むことで、より関心をもって学習することができ、思い出深い校外学習になるでしょう。例えば理科では、ヒトの体のつくりやはたらき、誕生、さまざまな動物のくらしや分類を学びます。発展学習として、ヒト以外の霊長類とヒトを比べながら観察してみてもいいかもしれません。

また国語では「どうぶつの赤ちゃん」や「どうぶつ園のじゅうい」など動物の話題が多く登場しますし、社会では環境問題が取り上げられ、野生動物とヒトが共存できる持続的な社会についても学び考えます。生活科や道徳では、自分以外の生命を理解し尊重することを学びます。さらに博物館学や霊長類学、職業教育など、さまざまなテーマに展開することも可能です。

ぜひ先生方や指導者のみなさまからのアイデアやご要望もお寄せください。

ヒトとは！？

感性

多様性と共通性

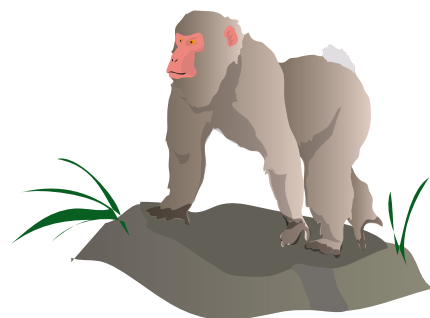
環境問題

環境への適応

進化

日本の民話

観察する目



# 来園する前に

## ①教育プログラム活用のおすすめ

レクチャーやスポットガイドなどを組み合わせて、学習のねらいに合わせたオリジナルの教育プログラムを組むことをおすすめします。レクチャーでお話しする内容やスポットガイドの対象種などは、打ち合わせを通じて決定します。詳しくは次ページ以降をご覧ください。

## ②下見打ち合わせのおすすめ

テーマの検討や教育プログラムの組み立てのために、事前に学芸員との打ち合わせをおこなってください。子どもたちをよく知る先生方と、霊長類を知る学芸員が、子どもたちの学びのために連携することが大切だと考えています。申し込み方法など具体的な情報は、最終ページをご覧ください。

## ③事前学習・事後学習のおすすめ

来園前の動機づけは、とても大切です。また当日の動きをイメージできていると、観察に集中することができます。来園前に事前学習の時間を持つことをおすすめします。事前学習のための資料や教材も用意していますので、ご相談ください。来園後は記憶の新しいうちに、ふりかえりの時間を持つことをおすすめします。学習の成果である絵日記や壁新聞などを、園内に掲示することも可能です（要相談）。追加の質問等がありましたら、お気軽にお電話ください。

### 貸出教材のご案内

来園前に、学校で事前学習をしませんか？  
事前学習用の教材キットの貸出しをしていますので、ご活用ください。

#### 教材キット「くらべてみよう、サルとキミ」

教室で、手型や実際の大きさなどを自分と比べてみながら、霊長類にもヒトを含めさまざまな種類があることを実感することができます。日本モンキーセンター訪問への期待を高めます。

#### 教材キットの内容

- ① 手型カード  
(ヒト・ニシゴリラ・ニホンザル・チンパンジー・イヌ・モルモット) ×8 班分
- ② 実物大手型カード (ヒト・ニシゴリラ・ニホンザル・チンパンジー)
- ③ 等身大タペストリー (ニシゴリラ、ニホンザル、コモンマーモセット)
- ④ タペストリー掲示用マグネット
- ⑤ 紙芝居  
(園の概要、観察ポイント、ルールなど)
- ⑥ 指導案



#### 貸出方法：

下見時にご相談ください。下見時に持ちかえっていただき、来園当日にご返却ください。現在 20 セットを用意しています。

この教材はJSPS科研費（25871078、19K02721、19H01666）の助成をうけて制作しました。

### 事前・事後学習の参考資料に！

#### オンライン

**Web霊長類図鑑** [https://www.j-monkey.jp/primate\\_enc/](https://www.j-monkey.jp/primate_enc/)

園内で会える霊長類を中心としたオンライン図鑑です。飼育個体の情報からレッドリストの情報まで調べ学習に最適です。



この教材はJSPS科研費（19K02721）の助成をうけて制作しました。

#### 書籍

### 「霊長類図鑑 サルを知るとはヒトを知ること」

(公益財団法人日本モンキーセンター編、京都通信社、2018)

日本モンキーセンターの学術スタッフが総力を挙げて作り上げた、霊長類の入門書です。子どもたちの事前・事後の調べ学習や、先生方のワークシートづくりの参考資料に最適です。



〈図鑑ページ〉で霊長類の種類を調べるのはもちろん、〈図解ページ〉ではくらしや特徴がトピックごとにまとまっているので楽しく学べます。



**園内ビジターセンター及び書店にてご購入いただけます**

### 持ってくると役立つ 持ち物

#### 筆記用具

気づいたことをメモしましょう！

#### ヒモ付きクリップボード

しおりやワークシートを使う際に便利です。

#### 双眼鏡

展示場所によっては動物が遠くて見えにくいところがあります。双眼鏡があれば遠くの霊長類はもちろん、手や足など見えにくいところもよく観察できます。



#### 時計

園内は時計が少ないため、班行動をする時に役立ちます。

#### 帽子

春や秋は同じ日に複数の学校団体が来園することがあります。帽子など、目印になるものがあると役立ちます。

#### カメラ

気になったモノの写真を撮っておくと事後学習に役立つこと間違いなし！

園内マップPDF

#### 園内マップ

印刷してくると、班行動の時に役立ちます。



### 園内での注意事項

- ・動物に触ることはできません。
- ・動物にエサをあげないでください。
- ・放し飼い施設「Wao ランド」、「リスザルの島」は引率の先生と一緒に入るようにしてください。（幼稚園～小学生団体）
- ・ボールの持込み、運動競技や音響、楽器使用などには制限があります。事前にご相談ください。
- ・スタッフの指示に従ってください。

霊長類は野生動物です。  
相手の気持ちを考えて静かに観察してください。

**※来園するみなさまに事前にお伝えください**



# 小学校向け学習

## 各種プログラム

いくつかのプログラムを組み合わせ、受けることができます。

### レクチャー

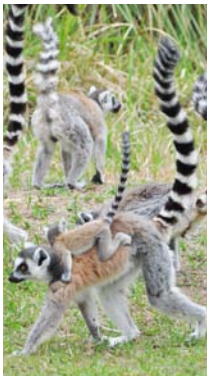
ビジターセンター内にあるホールで話を聞くことができます。  
座席は 200 名分あります。感染症対策のため、人数が多い団体は  
数回に分けて実施します。  
内容や時間は事前に先生方と学芸員が打ち合わせをし、決定します。



### レクチャーの内容例

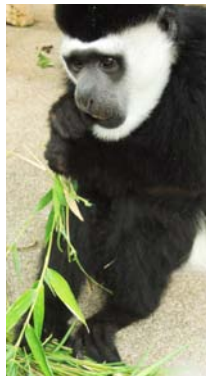
- ・ **見学のポイント** 標本や写真を見たり、自分と比べたりしながら、さまざまな霊長類を観察する際のポイントをお話しします。テーマを絞ってお話することも可能です。

#### テーマ例



#### 体の特徴

体の大きさ、しっぽの有無、手足の長さなど、観察しやすい体の特徴を紹介します。



#### 食べ物

果実だけでなく木の葉や昆虫、樹脂など、種類によっても食べ物はちがいます。



#### 社会

ペアでくらしたり大きな群れをつくったりなど、霊長類の多様な社会やコミュニケーションについてお話します。

### ・ 誕生と成長



園内で見られる霊長類の赤ちゃんの頃の様子を紹介しながら、種類によっても異なる霊長類の成長や子育てについてお話します。

### ・ 動物園の仕事



飼育員や獣医師、学芸員など、動物園のいろいろな仕事についてお話します。光村図書 2 年生国語「どうぶつ園のじゅうい」にそったプログラムもあります。

### ・ 絶滅しそうな動物たち



霊長類の多くは絶滅の危機に瀕しています。現状をわかりやすくお話しするとともに、紙を大切に使う、地元のものを食べるなど、自分たちでできることを考えます。

### スポットガイド

動物を観察しながら、動物の魅力や特徴などを飼育員が 10 分程度話します。下記動物以外でも実施可能です。  
※基本的に 1 団体につき 1 種類でお願いします。人数が多い団体は数回に分けて実施できます。

#### スポットガイドの例



#### ジェフロイクモザル

人数：約 80 名まで  
場 所：モンキースクランブル  
※クモザルは濡れるのを嫌がるため、雨天時は実施できない場合があります。



#### アヌビスヒヒ

人数：約 120 名まで  
場 所：ヒヒの城  
※人数が多い団体はガイドの声が聞き取りにくい場合があります。



#### チンパンジー

人数：約 50 名まで  
場 所：アフリカセンター  
※雨天時は室内でおこなう場合があります。



## 引率者が指導する体験活動

動物園をフィールドとした体験型のプログラムです。

子どもたちが主体的に観察や体験をおこない、対話的に共有していくことで学習を深めていきます。事前の打ち合わせ時にプログラム内容について解説し、ワークシートのひな形をお渡しします。当日のプログラムは引率の先生や団体の指導者の方が進行します。

### ・モンキーチャレンジ



霊長類の優れた能力に、体を使って挑戦するプログラムです。それぞれの動物にはその動物特有の優れた能力があることを体験から実感し、その後の動物観察を通して、どうしてそんな能力を持っているのか、その動物がどんな暮らしをしているのかを考えます。

### ・「知ったこと」をつたえよう



班別で施設に分かれ、1種類の動物を観察し、ワークシートに記入します。観察をととして「知ったこと」を文にして友だちに伝える、低学年国語向けプログラムです。事前・事後学習教材をデータ（PDF）で用意しています。



学校で観察する種類を決めるための動物一覧シートと来園時に書き込むかんさつシート



事後学習用に、観察した動物の写真と観察したことを書き込んで文にする、おしえるシート

## 1日のながれ

これらはあくまで一例です。団体の予約状況によって時間調整したりプログラムを入れかえることができます。

### グループ活動を含めた活動例



レクチャー  
(20分)



スポットガイド  
(10分)



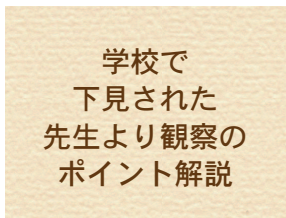
体験活動  
(30分)

※プログラムによって異なります



グループ活動  
(約90分)

### 動物の観察を中心とした活動例①



学校で  
下見された  
先生より観察の  
ポイント解説

事前学習



スポットガイド  
(10分)

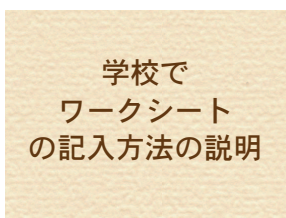


レクチャー  
(20分)



園内見学  
(約90分)

### 動物の観察を中心とした活動例②



学校で  
ワークシート  
の記入方法の説明

事前学習



ワークシート学習  
(60分)



スポットガイド  
(10分)



まとめレクチャー  
(20分)

### 昼食

# 小学校高学年～大人むけ じっくり学習

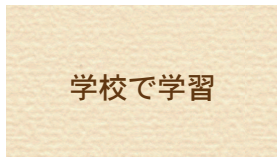
## 各種プログラム

時間をかけてじっくり学習をしたい団体におすすめです。  
理科や社会などの授業の一環としてプログラムを組むこともできます。

### 動物の体のつくりと運動 小学4年生向け

小学校4年生理科「人の体のつくりと運動」の発展学習です。霊長類の移動のしかたや体のつくりを、生きた動物と骨格標本の両方で観察します。観察の結果から「移動のときによく使う部位が発達する」という動物の体のつくりのルールを発見し、人の体のつくりも同じルールに従っていることを学びます。

#### 1日のながれ



##### 学校で学習

##### 事前学習

学校で「人の体のつくりと運動」の学習を終えておきます。人体の骨や筋肉について理解し、霊長類と比較して学ぶ動機付けをします。



##### 動物の観察

(50分)

3種の霊長類について、体のつくりと運動のしかたを観察します。



##### 骨格標本の観察

(30分)

骨格標本を観察して前あしと後ろあしの長さをくらべ、体のつくりのちがいを確認します。



##### まとめ

(20分)

観察をもとに、動物の体のつくりのルールについて考えます。

### 霊長類の環境適応の多様性 小学高学年以上向け

霊長類は多様です。種類によってサイズ、体型、移動のしかた、食べ物など、さまざまに異なっています。特徴的な数種の霊長類について、体のつくりや移動のしかたを観察してみましょう。生息環境や食べ物との関係をみていくと、どの種もそれぞれに環境に適応して進化してきたことがわかります。

#### 1日のながれ



##### レクチャー

(30分)

世界にはおよそ450種以上の霊長類が存在し、多様な環境に生息していることを学びます。



##### ワークシート観察

(45分)

3～4種の霊長類について、体の大きさ、四肢や尾の比率、移動のしかたをじっくり観察してみましょう。



##### まとめレクチャー

(45分)

観察のまとめをしながら、動物の体のつくりと食べ物、生息環境の関わりを考えます。

昼食



##### 園内見学

(90分)

観察した種類にとどまらず、さまざまな霊長類に目を向けて、それぞれの環境適応に思いを馳せてみましょう。

### 骨格標本で学ぶ霊長類の進化 中学生以上向け

動物の骨には、動物の進化の歴史に関する情報や、環境適応についての情報が詰まっています。生きた霊長類の観察で多様性を学ぶとともに、日本モンキーセンターが豊富に所蔵する学術標本を観察して、霊長類の歴史とくらしを読み解いていきます。

#### 1日のながれ



##### レクチャー

(40分)

霊長類の分類や生態について、基礎的な知識を習得します。



##### ガイドツアー

(80分)

キュレーターと一緒に園内の動物を観察し、霊長類の多様性を理解します。

昼食



##### レクチャー

(60分)

霊長類の骨から進化についての情報を読み出す方法を学びます。



##### 骨学実習

(90分)

実際に骨格標本を観察して、霊長類の進化を読み解いてみましょう。



## 環境問題と霊長類 小学高学年以上向け

いま、多くの霊長類が人間活動の拡大のために生息地を奪われ、絶滅危惧種となっています。日本人の暮らしも無関係ではなく、木材、パーム油、レアメタルなどの輸入によって、絶滅に拍車をかけています。このままでは、霊長類の多様性は急速に失われていくでしょう。私たちの生活と世界の霊長類のつながりを知ることで、保全の意識を高めます。

### 1日のながれ



事前学習  
(1 時限)

身の回りには、世界中の霊長類の生息地からさまざまなものが来ています。探して、調べてみましょう。



レクチャー  
(30 分)

世界の霊長類の分布、多様性について知しましょう。



園内見学  
(90 分)

世界各地の霊長類の多様性を実感しましょう。

### 昼食



レクチャー  
(45 分)

事前学習を踏まえて、日本人と世界の霊長類生息地のつながりを知り、そこにくらす霊長類の現状を知ることで、保全意識を高めます。

## 霊長類行動観察入門 中学生以上向け

教わるのではなく、みずから観察、発見することを重視したプログラムです。グループに分かれ、それぞれ異なる種について、一定の観察方法、記録方法でデータをあつめ、集計、考察、発表します。発表内容を比較をすることで霊長類の多様性を実感できるのはもちろん、行動を科学的に見る目を養います。

### 1日のながれ



レクチャー  
(45 分)

霊長類の多様性について簡単に学んだあと、行動観察の記録用紙を手に、観察方法と記録方法を解説します。



観察  
(60 分)

グループに分かれ行動観察をおこないます。1 個体を追跡して観察する方法をおこなうことが多いです。



まとめ  
(30 分)

観察された行動の「回数」や「継続時間」を算出します。グループ内でディスカッションし、発表に備えます。



発表

(3 分 × グループ数)

観察結果および考察を発表します。他のグループの発表と比較することで、行動の多様性を実感することができます。

## その他のレクチャー

### 霊長類の研究紹介

日本モンキーセンターには複数のキュレーター（博士学芸員）が在籍しており、それぞれの専門分野における研究活動をおこなっています。いま、霊長類についてどのような探求がおこなわれているのでしょうか。専門家の立場から紹介します。



### 博物館としての動物園

動物園も博物館の一種です。日本モンキーセンターは国内の動物園で唯一の登録博物館。世界最大級の生きた霊長類のコレクションを有し、死亡した個体は世界有数の標本コレクションとして残されています。これらに基づく調査研究が展示や教育普及に生かされている。そんな博物館活動についてご紹介します。



### 霊長類学の歴史とモンキーセンター

1948 年に始まった日本の霊長類研究は、日本人研究者が多くの成果を上げ、世界をリードしてきた分野です。1956 年に設立された日本モンキーセンターは、霊長類研究の発展とともに歩んできました。霊長類研究の歴史と日本モンキーセンターの歴史をふり返ります。



## こんなことも実施しています

職場体験学習・インターンシップ・博物館実習・総合学習・郷土学習・教員研修会  
Web 会議サービス Zoom などを使用した事前・事後学習のサポート

# Information

## 施設案内

### ビジターセンター

霊長類に関する基礎知識が詰まった展示施設です。霊長類の剥製や骨格標本などを展示しています。期間限定で、特別展も開催しています。ホールもあります。



### ホール

レクチャーや教員研修会などで利用できる、階段教室です。エアコン、プロジェクターなどの音響設備が設置されています。約 200 名座れます。



### トイレ

園内には5カ所のトイレがあります。各トイレには洋式トイレ、車イスで利用できる広い個室が設置されています。退園時は混雑しますので、密にならないよう分かれてご利用ください。



### 昼食場所

晴天時は園内の各広場をご利用ください。（けやき広場、アフリカセンター前 等）雨天時はビジターセンター内のホールや無料休憩所（室内）をご利用いただけます。



※ホールの雨天時昼食利用時間 11:30 ～、12:15 ～（各 45 分間）要予約

※園内飲食店で食事をとられる場合はご相談ください  
※お弁当のご予約も可能です（1食 650 円～）

## 営業案内

10:00～17:00

（11月～2月 10:00～16:00）

基本的に 火・水 休園

10月、11月は火曜のみ休園

（夏期・冬期に集中休園あり）

※詳細は web ページをご覧ください

## 入園料金

大人（高校生以上）	1200 円
小中学生	500 円
幼児（3才以上）	300 円

※団体料金の設定はありません。

※入園料は当日現金をご用意ください。

※請求書払いをご希望の方は事前にご相談ください。

※観光券は名鉄観光サービスのみ利用可。

※日本モンキーパーク（遊園地）ご利用の場合は別途入園料が必要です。

※「日本モンキーセンター友の会」の入園無料特典は、団体入園時には利用できません。

※障がい者手帳をお持ちの場合は通常の半額となります。団体利用の際は事前に減免申請書をご提出ください。



## 駐車場料金

バス（マイクロバス含む）	1500 円
普通車	1000 円

※送迎のみの場合は無料です。

※駐車場は日本モンキーパークが運営しています。詳細は日本モンキーパークへご連絡ください。（TEL:0568-61-0870）

※秋の貸切バスは予約が集中します。来園予定日にバスが予約できるかご確認ください。

犬山駅から路線バスをご利用の場合は事前に  
岐阜バス（各務原営業所）にご連絡ください  
TEL:058-370-8833 大人 180 円 こども 90 円

※秋は路線バスの団体利用が集中します。日程によっては増発が困難な日もありますので、来園日が決まりましたらはやめにご連絡ください。

## お申込み方法



### ① 電話で仮予約

電話にて来園の日時や学習内容などをご相談ください。



### ② 下見

下見にて担当者と打合せをおこないます。  
※教職員や指導者の下見は入園料が無料となります。是非お越しください。



### ③ 利用申込書

下見に来られない場合は、別紙の団体利用申込書をご記入のうえ FAXにてお送りください。

※旅行会社からの受付はしておりません。利用団体より直接お送りください。

秋（10月～11月）は団体利用が集中します。はやめの申込みをお願いいたします。

来園や休園日、レクチャー内容のご相談などお気軽におたずねください！

2024.07 改訂

## お問合せ

〒484-0081

愛知県犬山市犬山官林26 日本モンキーセンター 学術部

TEL 0568-61-2327

FAX 0568-62-6823

<https://www.j-monkey.jp>